

くじゅう黒岳地域のプロフィール

黒岳は、くじゅう連山の北東端にあり、標高 1300m 以上の山峰を連ねた溶岩円頂丘の集合体で、最高峰は高塚山 (1587m) です。オヒョウ、ブナ、コミネカエデなどを林冠とする原生林でおおわれ、貴重な自然が残されており、「日本の自然 100 選」(財団法人文化協会指定) や「水源の森百選」(林野庁指定) にも選ばれています。



阿蘇くじゅう国立公園概念図



くじゅう黒岳地域は阿蘇くじゅう国立公園内にあります。この公園は、熊本県の阿蘇火山一帯と九州本土最高地点を含むくじゅう山群と広大な飯田・久住の両高原から奥別府までをとりこむ山岳と高原の公園です。

公園地域は別府市、庄内町、湯布院町、久住町、直入町、九重町、玖珠町まで広がっています。

くじゅう山群には、ブナの原生林やミヤマキリシマ、コケモモなど数々の火山山頂帯の植物が生育し、南北に展開する雄大な久住・飯田の高原と相まって特徴的な火山景観を呈し、随所に湧出する各種の温泉とともに多くの人々に利用されています。